

大 学 生 が 語 る

災害復興と 地域の未来

3.11 ~~3.11~~
3.25

東日本大震災からもうじき3年が経過しようとしています。県内で発生した能登半島地震からは2014年で7年になります。本プログラムでは能登半島地震や東日本大震災でこの間地域住民との交流を続けてきた学生たちの活動報告を通し、災害ボランティアのあり方、災害に強いまちづくりについて議論します。

開催
日時

2月21日(金)

18:30-20:30 (18:00開場)

会場

金沢学生のまち市民交流館
交流ホール (石川県金沢市片町2丁目5-17)

[参加費] 無料

参加申し込み

会場スペースの関係もあるため、事前の申し込みをお願いしています。
裏面の必要事項をご記入の上、E-mailまたはFaxにてお申し込みください。

申し込み・
問い合わせ先

北陸学院大学地域教育開発センター
田中 (tanaka.j@hokurikugakuin.ac.jp)

プログラム

Program

【第一部】

被災地での取り組み

- ①陸前高田市における活動(岩手県)
金沢大学ボランティアサポートステーション
- ②福島第一原発自主避難の子どもの支援(山形県)
北陸学院大学よりそいの花プロジェクト
- ③大学・短大混成チームによる被災地復興支援活動(宮城県・岩手県)
派遣参加学生
- ④能登半島地震被災地での足湯活動(石川県)
金沢大学「灯」

【第二部】

「被災地のニーズに応じるために学生ができることは何か？」

- コメンテーター 田中純一(北陸学院大学)
- 話題提供者 金沢大学、金沢星稜大学、北陸大学、
北陸学院大学の学生による話題提供

FAX

076-280-3851

メールの場合は「大学生が語る災害復興と地域の未来」
申し込みと記載の上、同じ内容を
tanaka.j@hokurikugakuin.ac.jp
に送信してください。

「大学生が語る災害復興と地域の未来3.11×3.25」参加申し込み用紙

必要事項をご記入の上、**2月14日(金)**までにFAXかメールにてご返送ください。

※会場の座席数に限りがあるため、お申し込みがない場合はご入場いただけないこともございますので、ご了承ください。
※参加申込用紙に記載された個人情報は本企画以外に使用することはありません。

ふりがな	
氏名	
住所	〒 -
所属	
電話	() -
E-mail	

